

## 留学体験レポート

国際文化学科

21015019

大滝理奈

私は2016年9月3日から12月24日までの約4か月間、韓国にある慶熙大学校に留学をしました。

留学して最初に困ったことは、料理の辛さでした。生活していくうちに慣れましたが、留学したばかりのころに食べた学食メニューはとても辛くて大変でした。私のトウミは辛いのが苦手だったので、一緒にご飯を食べるときは辛くない韓国料理のお店を教えてくださいました。留学したばかりのころは思うように話せずトウミと過ごす時間が辛かったこともありましたが、トウミはいつも親切に接してくれました。話の内容を理解できないこともありましたが、トウミとの時間はネイティブの韓国語を聞く良い機会でした。

国際情報大学での韓国語の授業は週に3回だったので、一日中韓国語で授業を受けるのは慣れるまで大変でした。ですが、授業を通して韓国の文化を知ることができ、クラスメイトの母国の文化についても知ることができました。現地学習ではナンタ公演を見たり、1泊2日で雪岳山に行ったり、こういう機会でなければ経験できなかったことばかりでした。

休みの日は、韓国料理を食べに行ったりカフェに行ったり、ショッピングをしたりしました。行きたいところがたくさんあり、帰るのが遅くなることも少なくありませんでしたが、韓国は魅力的なところだと感じました。最後の1週間はクラスメイトとご飯を食べに行ったり、日帰りで釜山旅行に行ったりしました。

留学に行く前は、韓国料理についてあまり知りませんでしたが、私たちが住んでいたフエギにあるパジョンやタッカンマリ、スウォンのカルビ、釜山のテジクッパなど有名な韓国料理はどれも美味しかったです。食べたことのない韓国料理を探して食べに行ったりもしました。

国際情報大学から一緒に留学に行った友達とは、夕飯を作ったり、夜遅くまでおしゃべりしたり、授業で分からなかったことを聞きあったりしました。一緒にいる時間が増えたことも留学でしか経験できないことだったと思います。

私は韓国の気候が好きでした。夏は暑く、冬は乾燥しますが、新潟と比べると晴れの日が多かったです。雨が降っても土砂降りになることは少なく、寒い冬でも晴れている日は太陽の暖かさを感じました。

留学前はホームシックになるかもしれないという不安もありましたが、留学生活が始まってからは毎日新鮮で、韓国が大好きになりました。生活するうえで不便だったことも少しありましたがストレスに感じることはありませんでした。毎日韓国語に触れることが語学力の向上に繋がり、成長を実感できた貴重な時間でした。